



見つけてみよう！

校長 大谷 京司

6月、多目的ホール前の花壇の紫陽花が美しく咲き誇り、私たちの目を楽しませてくれました。毬のように大きな花に見えるのは実は小さな花の集合体。その1つ1つの小さな花の花びらのようなものは実は中の花を守る「がく」。「がく」の中をよーく見ると花びらとおしべとめしべがあります。意識して見つけてみることによって、いろいろな発見があります。プロジェクト学習も始まりました。研究の内容もさることながら、どうしたら学びを深めることができるのか、「学び方を自ら学ぶ」良い練習になっていると思っています。



今年はおもち米を



6月13日(月)、梅雨の合間のお天気の日にお田植えを行うことができました。今年、「喜寿もち」という品種名のおもち米です。子どもたちはグループごとに田植えをする間に稲をじっくり観察してその絵や分かったことなどをワークシートに書き込むこともしました。今年は大勢の保護者にもお手伝いいただき、作業も効率よく進めることができました。暑い中、ありがとうございました。



全体ミーティング



自分たちの課題を自分たちで解決する自治の第一歩として、目安箱の設置について全体ミーティングがもたれました。

多目的ホールにサークルを作り、児童会の進行でみんなが意見を出し合い、まとめていきます。この日は、設置場所についての話し合いが中心となりましたが、高学年ばかりでなく低学年からも積極的に意見が出て、みんなが自分事として問題をとらえていることに感心しました。

目安箱自体も最初に教師が用意したものから、自作の温かみのある箱へと進化しました。



久しぶりの水泳 はじける笑顔



2年間、水泳授業を見合わせていましたが、今年は6月21日に第1回目の水泳授業を行いました。

1・2・3年生にとっては小学校で初めての、高学年にとっても久しぶりの水泳授業ということもあってか、どの子も体いっぱい喜びを表現し、楽しみながら取り組んでいました。

初回は、児童の水泳アンケートに基づき、グループ

分けをしましたが、2回目からは1回目の技能を見て適切なグループに再構成し、それぞれのグループ目標に向けて取り組んでいます。

3回目には、水難事故防止として緊急時においても「浮いて待て」を意識、実践できるようペットボトル等を使って自分の体を浮かせて体力を消耗せずに救助を待つことも指導したいと考えています。



飯山白竜太鼓の迫力を体全体で感じて



厚木市に伝わる郷土芸能の1つに相模飯山白竜太鼓があります。本校でも昨年度より和太鼓の演奏を音楽の授業でも少しずつ取り入れていますが、今回は保存会の方々に来ていただき、演奏を披露していただくとともに実際に簡単な楽曲の体験もさせていただきました。

思い切り太鼓を叩き、手に豆を作る児童もいましたが、その分お腹にドンドンと力強い響きが伝わってきました。ますます和太鼓の魅力に取りつかれていきそうです。

心を1つに 35人36脚に挑戦！

今年度は、学期に1回程度広い校庭で走り回れる機会をもつために、土曜日に玉川小学校の校庭をお借りして体育を行っています。

今回は、全員で鬼ごっこを行った後、子どもたちの発案で35人36脚に挑戦しました。

最初は縦割りの6グループで4人5脚もしくは5人6脚で練習し、慣れてきたところでグループを2つ合体させ、最後は35人の長い列になってゆっくり1歩ずつ前に進んでいきました。目標は10m。時間はかかりましたが、最後にゴールした時には、達成感で一杯でした。

